

# お遊戯会通信④ (MEGUMI通信 第27号)

新高山めぐみ幼稚園 2021年2月9日 (火)



## 第43回 お遊戯会 オペレッタのあらすじを紹介します



### “ブレーメンのおんがくたい” (桃組・赤組)

音楽好きのロバ、イヌ、ネコ、ニワトリは、ブレーメンの町で音楽隊に入ることにしました。

ブレーメンへの旅の途中、思いがけずどろぼうに出会ってしまったから、さあ、大変……。

自分らしく表現しながらも友だちと息を合わせてセリフを言ったり、歌ったりしているところを温かく見守り、応援して下さい。



### “おおかみと7ひきのこやぎ” (橙組)

「おおかみを家にいれないよう注意下さい」

お母さんやぎはこやぎ達にそう言って森に食べものを探しに出かけます。

こやぎ達は、おおかみの「しわがれ声」や「黒い足」をしっかり見ぬいて、おおかみを追い払います。

しかし、おおかみは知恵を働かせて「しわがれ声」を「きれいな声」に、「黒い足」を「白い足」に変えて再びこやぎ達の家にやってきました。

こやぎ達は、とうとうおおかみに騙されて家の扉を開けてしまいます。

出所：福音館書店のHPより一部変更。



### “さんびきのこぶた” (緑組・黄組)

3匹のこぶたの兄弟は、お母さんに言われて自分のお家を作ることになりました。

長男のこぶたはワラのお家を、次男のこぶたは木のお家を、三男のこぶたはレンガのお家を作りました。



そこにおおかみがあらわれました。「トントントン、開けて下さいな」「だめですよ」。そこでおおかみは息をフーとはいて長男のワラのお家を吹きとばして、長男のこぶたをペロッとたべてしまいました。

次におおかみは、次男の木のお家をフーと息をはいてたおして、次男もたべてしまいました。

最後におおかみは三男のレンガのお家も息をフーとはきました。レンガのお家はたおれません。ドカーンと体当たりしました。しかし、レンガの家はびくともしませんでした。おおかみは「ごめんなさい」と謝りました。めでたしめでたし。

### “ながぐつをはいたねこ” (青組・白組)

むかしむかしあるところに、とても貧しい青年カラバがいました。

ある日、お父さんが亡くなり、青年にはねこが分け与えられました。

がっかりしていると、ねこが「私に大きな袋と長靴をください」と言いました。

そうすれば、とてもいいことが起きると言うのです。

言う通りにすると、ねこは大きな袋を使ってうさぎを捕まえ、王様のところへ行って「カラバ侯爵からの贈り物です」と言いました。

カラバ侯爵というのはねこが青年に勝手につけた名前でしたが、王様はすっかり信じ込み、ねこからの贈り物を受け取りました。

ある日、ねこは青年に川で水浴びをさせました。

そして、そこを通りかかった王様とお姫様に向かって「カラバ侯爵が水浴びをしている間に、大事な服を盗まれた」と嘘をつきました。

それを聞いた王様は気の毒に思い、立派な洋服を青年に贈りました。

そのあとも、ねこは青年の幸せのためにさまざまな知恵を働かせます。☆

出所：arasujikun.comより一部変更。



夢と希望の物語です☆